

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 キッズルームレモン

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点及び課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	○		活動に合わせて必要なスペースの確保を行っている。
	②	職員の配置数は適切である	○		配置基準を満たしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		玄関にはスロープがあり室内に段差もなく広いトイレも設置している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的にミーティングを行い業務改善に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		ミーティングで結果を職員に周知し改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は行っていないが、結果を基に業務改善に繋げている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		虐待防止について・身体拘束適正化についての研修、感染症対策研修、接遇研修等に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者と送迎時や電話などで話し合い、ニーズを把握して全職員に共有している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントツールを使用して評価している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ミーティングで話し合いをして活動プログラムを検討している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月ごとに製作活動や集団活動を計画している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		月ごとに製作活動や集団活動、課題を計画している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別集団と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者や利用児のニーズに合わせて作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日のミーティングで前日の振り返り、当日の支援について情報共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		緊急度や重要度の高い件については当日のうちに職員間で共有している。それ以外は翌日のミーティングにて情報共有している。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日のミーティングで支援の検証・改善について話し合い、ミーティング記録をとっている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一回モニタリングを行い判断をしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○		自立支援と日常生活の充実のため活動・創作活動・地域交流・余暇の提供等を組み合わせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時やケア会議で情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在、対象になる利用者はいないが、医療的ケアが必要な場合は連絡体制を整える。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		就学前に通っている保育所等に訪問して情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		支援内容等の情報を提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		年に1度、発達障害者支援センターの講師をお招きして研修会を催し、受講している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		地域の子ども食堂で他児との交流がある。今後機会を増やしていきたい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		現在は参加していない。今後参加を検討していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○		面談時や送迎時に話す機会を持ち、共通理解を持っている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		面談時や送迎時に助言することはあるが、トレーニングの支援はおこなっていない。今後行っていきたい。
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約時に行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談時や送迎時、電話での相談に応じて助言を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナ禍以降実施していないが今後実施を検討したい。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		面談時や送迎時、電話での相談に応じて対応している。

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		玄関への掲示や成長支援システム(HUG)にて周知している。
	③⑤	個人情報は十分注意している	○		職員間で情報共有して個人情報の取り扱いに注意している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもは絵や写真カードを用いて意思疎通を図り、保護者は送迎時や電話や面談で情報共有をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今後検討したい。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		玄関に掲示して周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		職員のみでの訓練は月に1回行い、児童は年に4回行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアルの作成や職員研修、虐待防止委員会を年に1回以上行って確認している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明した上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	現在は対象者がいない。身体拘束適正化委員会は年に1回以上行って確認している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの情報提供があった場合には対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットの事例をミーティングで話し合い、職員間で共有している。